



プロやトップ選手のお手本（左）と自分の動作を見比べて学習できるソフト。タブレット画面で操作できる

ペンギンシステム

連筑
携波大
と携

タブレット用アプリ開発

正しい運動動作学習

システム開発のペンギンシステム（つくば市千現、仁衡琢磨社長）は、筑波大と連携し、タブレット端末で、ゴルフや体操など「プロ」の正しい運動動作（フォーム）と、自分で撮影した自身のフォームを比較できるアプリケーションを開発した。手軽に利用できる、動作を繰り返し改善することで学習できるのが特徴。同社はスポーツ施設や大学などに販売を拡大したい考えた。

タブレット端末向けの動作習得支援アプリ「見くらべマスタ―見ん者」は、手本となる運動動作と、自分の動作をタブレット画面で左右に並べて見比べる。基本ソフトのウインドウス8に対応した端末で使える。同社は筑波大体育系

位置（動作ポイント）のこまを選ぶ。こまをつなげて連続した分割写真を再生すると動画になる。画面に左右に並べ手本と見比べられる。一つの動作は4秒ほど。

繰り返し動作を取り込んで、以前の履歴は見る事ができる。手本動作は自分で作成できる。

スポーツならばゴルフやエクササイズ、ダンス、野球といったあらゆる種目で使える。同社は、スポーツ施設やゴルフ場（練習場）のほか、学校の教材としても提供を見込む。学校用では、体操のマット運動の動きや球技、競技、ダンスで個人に合わせた指導に向くという。

価格はオープン。スポーツ施設やスクール向けの「業務用」、小中学校や大学向けの「学校版」を用意。ウインドウスストアや直販のほか販売代理店を通じて販促する。手本の映像もプロ選手らと組みオプシヨン販売を検討している。

（索引正雄）